

①授業から学んだこと

体育の授業見学では、先生が生徒を安全に動かすための言動を学ぶことができた。具体的には、指示を的確に簡単に大きな声でし、声のトーンを考えて大きな体育館でも生徒に聞こえやすい声の出し方をすることである。指示を出す時には、生徒を振り向かせるために笛を切って鳴らすことで、指示が通りやすくしておられた。また、安全管理や評価をするために先生の背後に生徒を置くことがなく、全体を見渡せる立ち位置にすることが重要であると学んだ。他教科の授業見学(保健、歴史探究、情報処理、政治・経済、英語論表などの座学)では、生徒の興味を引いて授業に意欲的に参加できる環境づくりをされていた。興味の引き方として、インパクトのある経験談や例を話すことで生徒からの反応が得られていた。その際、先生が教卓にいるのではなく、常にうろうろして目で追わせることで注目をさせ、生徒に問いかけるなど対話的な授業をされていた。中には、ICTを活用してリスニングクイズを行う場面や、より詳しいイメージを伝えるなどしている場面も見られた。授業見学を通して、生徒が意欲的に安全に授業に参加できる暖かい環境づくりをすることが大切だと学んだ。

体育の授業では高校3年生7クラスにバレーボール、中学1年生になぎなたの授業をした。授業見学で学んだことをできることから授業で実践しようとしたが、簡単にはいかなかった。声を出すのも後半につれて声が細くなってしまうたり、生徒全員が見渡せる位置に立てていなかったり、技量の差から意欲的に動いていない人が出てきたりと授業終了後に担当の先生から多くの助言をいただいた。授業の回数を重ねていくうちに、生徒の特性を踏まえて授業を組み立てることができ、生徒との距離も縮まって声かけの仕方や回数も増やすことができたため、技量の差から消極的になる生徒が少なくなった。生徒の意欲は技術の上達にも影響してくるため、生徒がのびのびと授業ができるように内容や環境を作ることが大切であると実感した。最後まで課題として残ったことは、立ち位置である。授業内容にフォーカスしてしまいがちだが、安全管理や評価のためにも生徒の動きを予測して考えたうえで授業を進めていくことが必要であると学んだ。生徒の動きについて、指示を出していても勝手にトイレや保健室に行くことなど、何も言わずに体育館から出ていく生徒もいるため、常に全体が見える立ち位置にいてそのような動きをする生徒に声かけをすることも大切だと学ぶことができた。

②生徒と交流の中で学んだこと

生徒との交流の中で気をつけたことは、生徒の背景を考えて接することである。生徒が発言をするに対しての意味、本当の気持ち、人間関係などを考えて言葉を選ぶことが必要である。人によって性格も違えば、言葉の受け止め方も違うため、生徒1人ひとりを観察した上で接し方を考えていた。先生にも、気になった生徒のことについては話を聞いてより深く背景を探り、人間関係の面でうまくいっていない生徒と周囲の状況についても話を聞いた。授業をする上でもチーム分けなどで配慮をしなければいけない場面もあったため、聞くことができてとても勉強になった。その背景を踏まえて生徒と交流をすると、見えてくるものが違う。楽しそうに話していても背景には家庭の事情で大変な思いをしている生徒、目標を明確にもって自分でどんどん勉強を進めている生徒、部活動でうまくいかなくて気持ちが不安定でいる生徒など様々な生徒がいる。それを踏まえて考えると、言動や態度から読み取ることもできることがある。そのサインを逃すことなく、対応しながら交流を深めていくことが大切だと学んだ。そうすると、心を開いて話しかけに来てくれる生徒や今まで話したことのなかった内容を話してくれる生徒が増え、生徒との

交流も楽しむことができた。

③職員室の様子から学んだこと

職員室の中で多く見られたのが、生徒の様子の共有である。例えば、授業中の態度が良くないことが続く生徒に対して、担任の先生から教科担当の先生に共有され、教科担当の先生は授業中の良くない態度をしている生徒に対して指摘をしていた。その際、人を不快にする行為であるなど、なぜそのような態度を取ることが良くないことなのかをはっきりと伝えていた。このように、一人の生徒に対しても、教員間で情報共有をしておくことで、生徒への伝え方を多角的に行うことが効果的であると学んだ。

④教育実習全般にわたって

空き時間をほとんど作ることなく、授業以外の時間も授業見学に行った。その分やることがたまって大変ではあるが、それ以上に貴重な時間から学びを得ることができたため必要だと思う。指導案作りなど自分でできることは家で、学校でしかできない授業や授業見学、部活動などに積極的に参加することで教育実習に行った価値を生み出すことができた。先生方からも、こんなに空き時間を作っていない実習生は珍しいと言ってもらい、快く実習を受け入れてくださった先生方に対しての尊敬と感謝の気持ちを表現するために、積極的に学びを得る姿勢でいることも、人として大切なことだと学んだ。